

報告日 令和7年12月13日

報告回次 2日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	沖縄県南城市			代表者名	南城市長 古謝 景春
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画部DX推進課	連絡先電話番号	098-917-5337
担当者役職	係長	担当者氏名	小橋川星子	連絡先E-mail	
住所	901-1495 沖縄県南城市佐数字新里1870番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	DX人材育成及びマネジメント変革支援事業
概要	全庁的なDXの取組を進めていくため、経営層、管理職・DX推進リーダー・一般職員それぞれの視点に応じたマインドセットの醸成や、具体的なアクションに繋がる知識・スキルの習得が不可欠である。アドバイザー派遣を通じて、実践的な学びと組織全体の意識改革を図るための助言をいただきたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	695	令和7年11月25日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月4日	支援・助言&講演(実地)	11時15分	17時15分	
				活動時間（分）	360

2-2.

派遣場所	会場名	南城市役所	最寄駅	南城市役所バス停
	所在地	沖縄県南城市佐数字新里1870番地	最寄駅からの交通手段	公用車

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	自治体の実情に根ざした本質的なアドバイスにより、DX時代に求められる管理職の役割を明確となった。DXに対する意識が様々な問いから、各管理職が認識できたと思う。 また、管理職間のディスカッションも取り入れながら、自組織について主体的に考えることができる場となった。
アドバイザーへの要望事項	組織課題は多くあると思うが、自組織にあった課題解決に向けたアプローチ等引き続き助言いただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	40人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	40			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	庁内にはDX推進の重要性について一定の理解が広がりつつあるが、現場においては「何をどう進めればよいのか分からない」「現状の業務を変えることへの不安がある」などの声も多く、特にマネジメント層におけるリーダーシップの発揮や部下育成の手法、職員の主体性を引き出すための組織マネジメントのあり方について課題が顕在化している。また、全庁的な機運の醸成が不十分であり、各所属での取組に温度差があるのも実情である。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	組織変革のための管理職の組織マネジメント力の向上、DX推進リーダーの育成、一般職員の意識改革を継続的に行うことで、庁内各所での主体的な取組や、DXを軸とした新たな業務改善提案等の形で成果が表れ始めることを想定しており、サービスを受ける市民だけでなく、職員のウェルビーイング向上を目指す。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	自治体の実情に根ざした本質的なアドバイスにより、DX時代に求められる管理職の役割を明確となった。DXを単なるIT化ではなく市民への価値を変革する活動と捉え、管理職がプレイングマネージャーから脱却し、成果志向のマネジメントへ転換すること。さらに、生成AIを「超優秀な部下」として活用し、業務の棚卸しによる時間創出が全庁的な急務であることが示されました。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	各々が漠然としていたDX時代に求められる管理職の役割を再認識することができた。管理職が助言をいただいた内容をまずは共通言語として認識できたと思う。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	特にない	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	3回目の支援でのDX推進員委員及び係長向け研修を実施予定。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果について記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由を記入下さい。 分析結果概要をPDFにて添付します。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
	1月29日にDX推進員及び係長向け研修を実施。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	組織変革のための管理職の組織マネジメント力の向上、DX推進リーダーの育成、一般職員の意識改革を行い、庁内各所での主体的な取組や、DXを軸とした新たな業務改善提案等の形で成果が表れ始めることを想定しており、サービスを受ける市民だけでなく、働き方も見直すことで職員も双方の幸せに繋げる。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past year all houkoku/>

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

